

現代政策学部 4 年 村上天地

留学先:ウェスタン・シドニー大学(オーストラリア)

留学期間:2023 年 9 月~2024 年 2 月

The most invaluable five months of my life in Sydney

ご覧になっている皆様、こんにちは。私はウェスタン・シドニー大学に 5 ヶ月間の語学留学に行った村上天地と申します。突然ですが、皆さんは 5 ヶ月で人生が変わるような経験ができると思いますか。私はできると思っています。留学に行く前、そうは思っていませんでした。しかし 150 日という期間をオーストラリアで過ごし、多くの考え方や物の見方、自分の中での価値観が大きく変化しました。ここではそのことについて話そうと思います。



まず初めに、私が留学に行こうと思った理由を少し話そうと思います。私は、留学に行く前に海外へ行ったことはありませんでした。YouTube などを通して海外、特に欧米の文化に興味を湧き実際に行ってみたいと思い始めたのが中学生くらいの時で、大学生になったら留学をしようと漠然と考えていました。しかし大学に入学すると同時に新型コロナウイルス感染症の蔓延によりプログラムは全て閉ざされてしまいました。やっと再開したと話を聞いた時には大学 3 年生の夏休みが終わった頃だったかと思います。準備には 1 年前から取り組まなければいけないため、行ける時

には 4 年生の春か秋、ちょうど就職活動にも重なる大事な時期です。また一般的には、4 年生の秋冬は就職活動を終えた学生たちが羽を伸ばし遊んだりする期間でもあります。留学へ行きたい気持ちは強かったですが、就職活動の不安や楽しい時期に友人たちと離れる

疎外感など、迷うには十分な理由もありました。通常 4 年生のこの時期に行く人は少ないかと思うので、私の中では大きな決断でした。それでも行くと決めたのは、行かない後悔をしたくなかったからです。働き始めてからでも、行けないということはありませんが、肉体的にも精神的にもハードルは上がっていきます。時間の使い方を考えた時に、せっかく行けるチャンスがある状況を逃してしまうのは、後になって悔やむのではないかと考え、決断しました。ですので、もし学年やタイミングで行くことを迷っている人がいるのなら、ぜひ後悔のない決断をしてほしいと思います。

次に、何が大きく私を変えたかについて話します。一番大きいのは多様性の理解度の違いです。日本では観光客を除いて、日本人以外の方と接することはそう多くないと思います。オーストラリア、特にシドニーは様々な国々からやってきた人たちが溢れており、多国籍です。私が学んでいたウェスタン・シドニー大学を例にとっても、約 15 カ国の異なる国から来た学生たちと一緒に学んでいました。また同性婚も合法化されています。街では性別に関わらず手を繋いで歩いている人たちを見かけることも珍しくないくらい、多様性も豊かです。そのような環境に身を置くことで多様性を近くで感じ、自分も柔軟で広い心を持つことができました。また、オーストラリアは、国民性としてゆったりしていてフレンドリーな人が比較的多いと思います。シドニーという世界的にも大きな都市ですが、時間の流れはゆったりと過ぎる感覚が私は好きでした。何か特別な出来事があり私を大きく変えたというよりは、日々の生活で感じる些細な違いが私にとっては心地よかったという感覚です。それを感じるには数週間では短いかもしれませんが、5 ヶ月住んでみると思ったより色々体験します。毎日がとても濃くて充実したものになります。



以上が私が皆さんにお伝えしたいことです。このレポートが少しでも留学を考えている人の後押しになることを願います。費用は決して安くはないですが、忘れられない思い出、ひいては人生を変えることにもなるかもしれませんよ。

